

## 単位認定の方針について

### ～臨床検査科～

#### 1. 単位の履修時間について

- 1) 単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じた1単位当たりの履修時間は、次のように定める。
- 2) 講義については、15～30時間をもって1単位とする。
- 3) 実習については、30～45時間をもって1単位とする。

#### 2. 試験及び成績評価について

- 1) 1・2年次の各学期に期末試験を行う。
- 2) 各科目とも講義と実習は、各々独立して評価を行うものとし、2名以上の講師によって行われる科目(実習を含む)に対する成績評価は、その合計点とする。
- 3) 成績の評価は、試験、レポート、学習態度、出欠状況などの総合評価とする。
- 4) 各科目とも60点を以上を合格とし単位を認定する。60点未満は不合格とする。
- 5) 各科目とも各学期の授業時間数の3分の1を超えて欠席した者は、当該科目は受験不可となる。ただし、特別な事情がある場合は、その限りではない。
- 6) 通年実施される科目は、前期と後期の成績を別々に評価し、各1単位とし、合わせて2単位とする。

\*試験の心得については学生通則の第5章を参照

### ～評価基準～

- ① 期末(単位認定)試験において、それまでの期間、遅刻及び早退があった者に対しては、その1回毎に、当該科目の得点から1点を減ずる。
- ② 期末(単位認定)試験において、それまでの期間、欠席があった者に対しては、その1回毎に、当該科目の得点から2点を減ずる。
- ③ 遅刻、早退、欠席の理由が、次の場合は、減点しないこともある。
  - 1) 交通スト、予測し難い交通渋滞のとき。
  - 2) その他正当な理由があると認められたとき。

#### 3. 追試験について

- 1) 病気、忌引、その他やむを得ない理由のため、期末試験を受けることができなかった者は、その科目について1回限り追試験を受けることができる。
- 2) 追試験を受ける場合は、原則として期末試験終了後3日以内に診断書または理由書を添え、追試験願を提出しなければならない。《届出様式3》
- 3) 追試験の成績評価は、上限を80点とする。

#### 4. 再試験について

- 1) 期末試験の不合格科目(単位)については、必ず再試験を受けねばならない。もし、再試験を受けなかった場合、その単位の評価は0(ゼロ)とし、未修得単位となる。
- 2) 2名以上の講師によって行われる科目(実習を含む)に対する成績評価は、その合計点とするが、合計点が60点に満たない場合、不合格となった講師の再試験を受験し6割を取らなければならない。
- 3) 再試験を受ける場合は、指定の期日までに、再試験願を提出しなければならない。《届出様式4》
- 4) 期末試験または追試験を受けなかった者は、再試験を受けることができない。
- 5) 再試験の成績評価は、上限を60点とする。
- 6) 再試験で不合格となった科目(単位)は、未修得単位とする。

#### 5. 進級について

- 1) 所定の授業科目(単位)については、原則として当該科目が開講される年次に履修し、その単位を修得しなければならない。
  - ① 1年次終了時点で、未修得単位が5単位以上の者は進級できない。
  - ② 2年次終了時点で、未修得単位が3単位以上の者は進級できない。
  - ③ 2年次終了時点で、未修得単位が2単位以内の者は2年次の進級判定会までに未修得単位試験を受けすべて合格した場合に進級とする。

#### 10. 原級(留年)について

- 1) 進級および卒業条件を満たさないものは原級に留まるものとする。
- 2) 1・2年次で原級した者は、未修得単位を修得しなければならない。
- 3) 1・2年次で原級した者は、既修得単位についても教育的配慮により専門基礎分野と専門分野の科目を再履修し、定期試験を受けなければならない。試験は既修得単位であっても、合格点を取るよう努力しなければならない。
- 4) 再履修した得点が既修得単位の得点より高い場合には、再履修での得点を採用する。
- 5) 同一学年の原級は原則として1回とする。
- 6) 3年次で原級した者は、臨地実習以外のすべての単位を再履修し、単位認定試験を受けなければならない。試験は既修得単位であっても、合格点を取るよう努力しなければならない。

## ～医療秘書科～

### 1. 履修時間について

- 1) 単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業方法に応じた1単位当たりの履修時間は、次のように定める。
- 2) 講義については、15～30時間をもって1単位とする。
- 3) 実習については、30～45時間をもって1単位とする。

### 2. 試験及び成績評価について

- 1) 各学期に期末試験を行う。
- 2) 各科目とも講義と実習は、各々独立して評価を行うものとし、2名以上の講師によって行われる科目(実習を含む)に対する成績評価は、その合計点とする。
- 3) 成績の評価は、試験、レポート、学習態度、出欠状況などの総合評価とする。
- 4) 各科目とも60点以上を合格とし単位を認定する。60点未満は不合格とする。
- 5) 各科目とも各学期の授業時間数の3分の1を超えて欠席した者は、当該科目は受験不可となる。ただし、特別な事情がある場合は、その限りではない。
- 6) 通年実施される科目は、前期と後期の成績を別々に評価する。

\*試験の心得については学生通則の第5章を参照

## ～評価基準～

- ① 期末試験において、それまでの期間、遅刻及び早退があった者に対しては、その1回毎に、当該科目の得点から1点を減ずる。
- ② 期末試験において、それまでの期間、欠席があった者に対しては、その1回毎に、当該科目の得点から2点を減ずる。
- ③ 遅刻、早退、欠席の理由が、次の場合は、減点しないこともある。
  - 1) 交通スト、予測し難い交通渋滞のとき。
  - 2) その他正当な理由があると認められたとき。

### 3. 追試験について

- 1) 病気、忌引、その他やむを得ない理由のため、期末試験を受けることができなかった者は、その科目について1回限り追試験を受けることができる。
- 3) 追試験を受ける場合は、原則として期末試験終了後3日以内に診断書または理由書を添え、追試験願を提出しなければならない。《届出様式3》
- 3) 追試験の成績評価は、上限を80点とする。

#### 4. 再試験について

- 1) 期末試験の不合格科目(単位)については、必ず再試験を受けねばならない。もし、再試験を受けなかった場合、その単位の評価は0(ゼロ)とし、未修得単位となる。
- 2) 2名以上の講師によって行われる科目(実習を含む)に対する成績評価は、その合計点とするが、合計点が60点に満たない場合、不合格となった講師の再試験を受験し6割を取らなければならない。
- 3) 再試験を受ける場合は、指定の期日までに、再試験願を提出しなければならない。《届出様式4》
- 4) 期末試験または追試験を受けなかった者は、再試験を受けることができない。
- 5) 再試験の成績評価は、上限を60点とする。
- 6) 再試験で不合格となった科目(単位)は、未修得単位とする。

## 平成30年度 九州医学技術専門学校 成績分布

### 臨床検査科

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）					
学科名	臨床検査科	学年	1年	学生数	45名
成績の分布					
指標の数值	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	6	2	20	15	2
下位 1/4 に該当する人数 12 人					
下位 1/4 に該当する指標の数值 69 点以下					

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）					
学科名	臨床検査科	学年	2年	学生数	47名
成績の分布					
指標の数值	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	3	1	18	23	2
下位 1/4 に該当する人数 12 人					
下位 1/4 に該当する指標の数值 68 点以下					

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点で点数化）					
学科名	臨床検査科	学年	3年	学生数	39 名
成績の分布					
指標の数值	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	5	7	21	6	0
下位 1/4 に該当する人数 10 人					
下位 1/4 に該当する指標の数值 60 点以下					

## 医療秘書科

(前期)

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点 で点数化）					
学科名	医療秘書科	学年	1年	学生数	17名
成績の分布					
指標の数値	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	0	0	3	13	1
下位 1/4 に該当する人数 4 人					
下位 1/4 に該当する指標の数値 77 点以下					

(後期)

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点 で点数化）					
学科名	医療秘書科	学年	1年	学生数	17名
成績の分布					
指標の数値	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	0	0	1	11	5
下位 1/4 に該当する人数 4 人					
下位 1/4 に該当する指標の数値 79 点以下					

(通年)

客観的な指標の算出方法					
履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する（100点満点 で点数化）					
学科名	医療秘書科	学年	1年	学生数	17名
成績の分布					
指標の数値	～59点	60～64点	65～74点	75～89点	90～100点
人数	0	0	2	12	3
下位 1/4 に該当する人数 4 人					
下位 1/4 に該当する指標の数値 77 点以下					